

## 令和8年度 部局経営目標

年度	令和8年度	作成日	令和8年4月1日
部局名	建設部	部局長名	金谷 健
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
<p><b>・人口減少抑制及び移住・定住促進対策</b> 人口減少社会においても地域がしっかりと機能し、市民が安心して豊かに暮らし続けられる持続可能な社会の構築を目指す「真庭市拠点形成計画（立地適正化計画）【仮称】」を策定・公表する。 移住・定住促進のため、地域と連携した空き家の利活用を積極的に推進する。</p> <p><b>・安全・安心のインフラ整備と維持管理</b> 良好な道路環境の整備を推進する。 強靱で安全な道路ネットワークの構築によって交流人口や関係人口の増加を促進する。 利便性の向上を図った公共建築の設計・営繕業務の推進を行う。 社会資本整備の基盤である国土調査の真庭市全域の早期完了を目指す。 上下水道事業の持続可能な経営の確保に向けて公営企業としての経営体制の強化を進める。 水道・下水道施設の改築・更新にあたり、ストックマネジメントによる維持管理費用の削減を図りながら、効率的な運営管理を目指す。</p> <p><b>・農林業施設の適正な維持管理</b> 老朽化したため池の計画的な改修工事と不要なため池の廃止を推進する。 林道の通行の安全を確保するため、舗装工事、修繕工事を実施する。</p> <p><b>・誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境整備</b> こどもはぐみ応援プロジェクト施策「安心して遊べる場所の整備」として公民協働によるポケットパーク整備を行う。</p> <p><b>・持続可能な魅力あるまちづくりの推進、地域の強みを生かした地域振興（勝山重伝建）</b> 歴史、文化、風土、景観等、勝山地域の強みを生かした地域振興を目指し、重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた体制づくりを進める。</p>			
(2) 事業成果目標 (重点事業)			指標名及び目標値
<p>●人口減少抑制対策 都市計画管理事業 【快適で持続可能な都市形成】 社会情勢に対応した持続可能な都市を構築するため、まちづくりの基本理念や目標などの検討、管理等を行うもの。 R7～R8において、拠点形成計画（立地適正化計画）【仮称】の策定を行う。</p>			<p>各種会議等による意見交換・聴取機会の数</p> <p>目標値: 6回</p> <p>(令和7年度実績値(見込み) : 5回)</p>
<p>●人口減少抑制対策 空家活用推進事業 ・空き家情報バンク登録業務 ・空き家活用定住促進補助（空き家を活用した移住、定住の促進） ・空き家家財道具等撤去補助金（空き家の流通促進） ・定住支援活動奨励金（移住者の受入支援） ・空き家情報バンク等登録奨励金（空き家の流通促進）【新規】 ・空家等対策検討委員会（特定空家等の認定審査）等</p>			<p>①空き家活用補助件数 ②家財道具撤去補助件数 ③地域認定空き家の契約</p> <p>目標値： ①62件、②30件、③10件</p> <p>令和7年度実績値（見込み）： ①60件、②28件、③7件</p>

<p>・道路新設改良事業（補助）</p> <p>・国の補助事業等（第2世代交付金）を活用し、市道の新設改良を実施するもの</p>	指標:交通量の増加
	目標値:1500台
	（令和7年度実績値（見込み））:479台
<p>・ポケットパーク整備事業</p>	指標:パークの整備
	目標値:1箇所
<p>●人口減少抑制対策</p> <p>地域振興事業（勝山）</p> <p>観光関係人口創出の基盤となっている町並み家屋の学術価値調査</p> <p>※町並み保存地区内の伝統的建造物家屋から所有者許可と調査対象の掘り起しを実施。</p>	指標:学術調査対象棟数
	目標値:10棟
	（新規）